

2021年11月1日

デクセリアルズ株式会社

## 反射防止フィルム生産体制の増強に向けた設備投資の実施について —車載ディスプレイ向けや次世代のモバイル IT 製品向け反射防止フィルムを高効率に製造—

デクセリアルズ株式会社（本社：栃木県下野市、代表取締役社長：新家由久、以下、当社）は、本社・栃木事業所に最新の反射防止フィルム製造設備を導入し、生産体制を増強することをお知らせします。本設備は、自動車の車載ディスプレイや次世代のモバイル IT 製品向けの反射防止フィルムの製造に最適な設備であり、投資金額は総額約 80 億円、量産開始後は当社の反射防止フィルム全体の生産能力は現在の約 1.5 倍となります。

当社の反射防止フィルムは、スパッタリング技術<sup>\*</sup>を用いて金属酸化膜をナノ単位の精度で形成することで優れた低反射性能を実現した製品で、自動車の車載ディスプレイやモバイル IT 製品への採用が広がっています。これらの需要に対応するため、当社は現在推進中の中期経営計画 2019-2023「進化への挑戦」リフレッシュ（アップデート）において、反射防止フィルムの増産投資を 2023 年度中に実施し、2024 年度の量産開始を予定していましたが、車載ディスプレイおよびモバイル IT 製品での新規案件獲得が順調に進み、当初計画を上回る需要が見込まれています。この状況を受け、当社では計画を 1 年前倒して 2023 年 4 月より設備の稼働を開始し、順次量産をスタートするべく、建屋の改修・新築を含めた設備投資の実施を決定しました。

このたび導入する製造設備は、最先端の反射防止フィルムを高効率かつ高品質に製造することができる設備です。最表面の防汚層を真空蒸着法によって形成する設備を導入し、反射防止層と防汚層を一貫して成膜できるように設備を設計したことで、高耐久な反射防止フィルム「HD シリーズ」のより効率的な製造を実現。主に高耐久性が要求される車載ディスプレイ向けや、現在指針が示されている次世代のモバイル IT 製品向けの採用を進め、顧客基盤拡大を目指してまいります。

なお、今回の設備投資額約 80 億円の内訳は、本設備への投資が約 50 億円、設備を設置する本社・栃木事業所の建屋の改修・新築への投資が約 30 億円です。

※スパッタリング技術：真空環境下でターゲット材にイオン化したアルゴンガスを衝突させ、弾き出した原子を対象物に附着させることで薄膜を形成する技術で、半導体の製造などでも活用されています。

<デクセリアルズ株式会社について> <https://www.dexerials.jp/>

デクセリアルズ株式会社は、企業ビジョンとして「Value Matters 今までなかったものを。世界の価値になるものを。」を掲げ、スマートフォン、自動車領域等に機能性材料を提供するメーカーです。異方性導電膜（ACF）、光学弾性樹脂（SVR）、反射防止フィルム、表面実装型ヒューズ、工業用接着剤、両面・片面テープ等の電子部品、接合材料や光学材料等の製造、販売をグローバルで展開しています。